



2024年4月開校予定のインターナショナルスクール小学部(イメージ)

Contents

メッセージ(理事長、学院長)	2	中学・高校からのお知らせ	8
創立記念礼拝・永年勤続表彰	3	中学・高校からのお知らせ	9
新任教職員紹介	4	こども園からのお知らせ	10
クリスマスプレイバック	5	インターナショナルスクール小学部からのお知らせ	11
キリスト教関係報告・聖書の言葉	6	2022年度決算報告	12
大学・保育園からのお知らせ	7		

メッセージ



理事長
福田 邦子

インターナショナルスクール小学部の開校に向けて

新学期を迎えてから4ヶ月が経ちました。

かかるなか、ルーテル学院のインターナショナルスクール小学部の開設まで残り僅かとなりました。法人事務局では、インターナショナルスクール小学部開校のための諸手続きや説明会・サマースクールなど多忙な日々を送っています。また、教員採用も急務です。加えてエカード会館をインターナショナルスクール小学部の校舎として使えるための工事が必要です。日本児童へのリクルート活動やインターナショナルスクール小学部の規定の作成、教具の選定や購入、制服の検討等々、小学部開設のためには多くの難題や問題を抱えています。熊本県内外からのお問い合わせも多く、皆様の期待の大きさをひしひしと感じています。難題山積ですがその期待に応えるべく役職員一同、インターナショナルスクール小学部開校のために努力をしておりますのでご支援のほどよろしく申し上げます。



学院長
内村 公春

創立100年に向けて

2026年、学院は創立100年を迎えます。これまでの歩みを神さまに感謝します。そのための4つの委員会を設置しました。募金委員会（委員長：林田博文）、行事委員会（委員長：松本学長・鶴山中高校長）、記念誌委員会（委員長：内村）、そして事業委員会なのですが、この事業委員会は2つに分け、教育環境整備事業（委員長：松本学長・鶴山中高校長）、施設整備事業（委員長：櫻井事務局長）として計画を進めています。さらに全体をとりまとめる委員会が100周年事業計画実行委員会（委員長：内村）です。現在まで2回の委員会を開催し、具体的活動に向けての準備を祈りつつ進めております。

もちろんこの活動の根底には、学院標語である「感恩奉仕」や学院聖句に示される創立の精神があることは言うまでもありません。

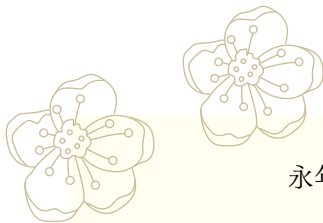
また創立以来のグローバル教育を更に進め、地域の要請にも応えるために、インターナショナルスクール小学部の創立（2024年4月開校予定）を予定しています。どうか皆様方のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

創立記念礼拝・永年勤続表彰



永年勤続表彰者の教職員

2022年10月3日(月)、九州ルーテル学院大学チャペルにて創立96周年記念礼拝及び永年勤続表彰を実施しました。



永年勤続代表 こども園園長 谷 美和

この度は、創立96周年の記念の日に永年勤続表彰を賜り、心より感謝申し上げます。ここまで勤務できたのは前任の尾田先生をはじめ多くの先輩・同僚の先生方に支えられ、引っ張られてきたからだと思っています。

幼児教育という場に身を置いて、子どもたちの笑顔と成長とに触れていくことになり、もう少し続けていこうかなという気持ちを繰り返し感じます。

園長に就任したときには、思いもよらず園長職を担うことになり自分自身でも、困惑しました。これまでの先輩の先生方が築き上げたものがあり、それを引き継いでいくには、まだまだ力の足りない私だと思っていたからです。

ただ自分一人で何かがなせるものではなく、またしようとするものでもないこの立場になって改めて感じています。本当に多くの人に支えられていること、一緒に働く仲間の大切さに気づかされ感謝する日々です。

この学院に来て、「あなたがここを選んだのではない。神様がここへ導いてくださったんだ」という言葉を聞いてきました。勤続20年というと、長くも感じますが、まだまだこれからだとも思っておりますので、神様が導いてくださることを信じて、学院の一員として励んでいきたいと思っております。

〈挨拶文抜粋〉

40年勤続

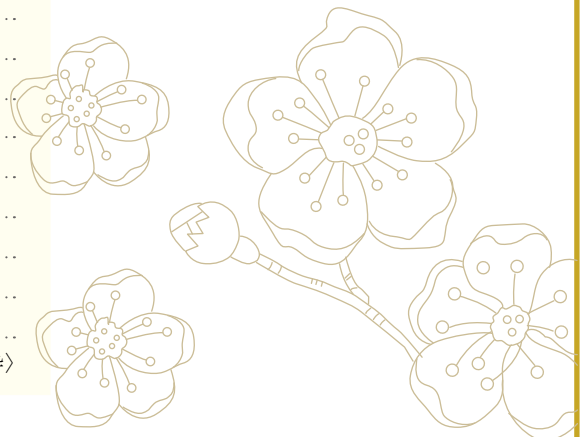
藤川 千穂 / 高校・職員

20年勤続

谷 美和 / こども園・教員
常定 知基 / 高校・教員

10年勤続

黒蔵 司 / 高校・教員
原田 大輔 / 高校・教員
平江 美貴 / 高校・教員
有村 達之 / 大学・教員
ケビン・アクストン / 大学・教員
ジャックリン・ベンケ / 大学・教員



CHECK!!

新任教職員のご紹介



写真上段
(向かって左から)

・石川智香子 (中高教諭・司書)
・西川毅 (大学事務部長)

・高森憲治 (大学職員)
・永住由希 (こども園・保育教諭)

・松浦知世 (大学職員)

写真下段
(向かって左から)

・大坪えみ (中高教諭・国語)
・齋藤仁志 (中高教諭・社会)

・西村真葉 (大学職員)
・森朱方子 (中高教諭・養護)

教職員代表ご挨拶

ルーテル学院中学・高等学校
教員 (理科) 伊藤 ゆい



ルーテル学院中学・高等学校にて理科教員として勤務しております。伊藤ゆいと申します。昨年度までは中学校の臨探教諭でしたが、今年度からは高等学校の教諭となり、1年生の担任と女子バレーボール部の顧問を務めることとなりました。年度が始まってからおよそ半年経過し、新しい環境での新たな出会いや経験を楽しんでいます。周囲の皆さん、いつもありがとうございます。

今年度は1年生の「物理基礎」と「科学と人間生活」、2年生の「化学基礎」と3科目の授業を担当しており、授業で関わる生徒・クラスも多いです。様々な生徒と共に学び、時間を共有できることを嬉しく感じます。その時間の中で共に成長し、生徒の皆さんの自己実現の支えになればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教職員代表ご挨拶

九州ルーテル学院大学
職員 (総務課) 松浦 知世



今年度より九州ルーテル学院大学 総務課にて勤務しております。松浦知世と申します。

着任しておよそ半年が経過いたしました。九州ルーテル学院大学に通う学生の姿から元気ももらいながら、教職員のみなさまのあたたかい雰囲気の中で、日々学びつつ過ごしております。

キリスト教精神と「感恩奉仕」というスクールモットーを基にした学校教育に共感し、ここで働きたいと願うようになりました。神様のご縁があり、実際に本学院の一員として、大学での業務に携わらせていただけるようになったことに感謝しております。

新任職員として至らない点もありますが、本学院の大学職員として自分には何ができるのか、日々考えながら業務に取り組み、成長していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

Merry Christmas

2022

クリスマス プレイバック

キリスト教関係報告

クリスマスイルミネーション点灯式

12月1日(木)にクリスマスイルミネーション点灯式を開催しました。点灯式については、熊本朝日放送にて生中継で放映され、翌12月2日の熊本日日新聞にも掲載いただきました。点灯式は新型コロナウイルス感染防止のため、参加者を限定して開催しましたが、イルミネーションは地域の皆さまにも公開し、今年度は593名の見学者がお越しいただきました。約20,000個の煌びやかな電飾が校門からの坂道・ロータリー・バス停に輝いています。今年度もぜひお越しいただきたいと思います。



九州ルーテル学院大学

12月23日(金)10:30から本学チャペルにてクリスマス礼拝を行いました。今年のテーマは“子どもの視点”で学生・教職員合わせて約120名が集い、クリスマスの祈りを捧げました。崔チャプレンによる説教、チャペル委員讃美部門(聖歌隊・ハンドベルチーム・オルガニスト)の演奏・讃美に加えて、コロナ禍の影響で3年ぶりに結成されたクリスマスクワイヤ(学生・教職員)と聖歌隊が「Hope for Resolution」を讃美し、厳かさの中にも温かみを感じる素敵な時間を共有することができたと思います。また、礼拝にあわせて多くの献金が寄せられました。献金は経済事情により親元を離れて生活する子どもたちの支援活動を行っている広安愛児園及び路上生活者への支援を行っているくまもと支援の会に贈られました。



認定こども園ルーテル学院幼稚園



～年長児による聖劇～



～マリア会有志 クリスマススワッグ作り～
クリスマス製作



～「こひつじの会」～ ～子どもたちもお家の方に心をこめて～

中学生が慈愛園を訪問しました

12月22日(木)に、慈愛園ケアハウス・パウラスホームにて、クリスマスカードの贈呈式が行われました。中学生2名が参加し、職員の皆さまと対面し、カードを手渡すことができました。残念ながら今回は、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、利用者の皆さまと交流することは叶いませんでしたが、97枚の手紙をお一人おひとりへと届けてくださるそうです。来年は是非対面し、素敵なクリスマスと一緒に過ごせる事を祈っています。





大学・保育園
チャプレン
崔 大凡

聖書の言葉



「だから、わたしが愛し、慕っている兄弟たち、わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、
このように主によってしっかりと立ちなさい。」（フィリピの信徒への手紙 4 章 1 節）

私たちの学院と繋がるすべての人々に神様の祝福と平和が行き届くことを祈ります。

皆さんがこの挨拶を読むとき、私たちが囲む情勢と状況、その中に生きる私たちはどのような姿でしょう。おそらく何かは急激に変わるまでではないと思いつつ、それは「分からない」ものです。2023年の残りの時間、どんな年になるでしょう。未来に対する姿勢と心構えは人それぞれですが、確かなのは、まだ「分からない」ことです。

この後が「分からない」ことは多くの場合、人の不安材料になりがちですが、見方を変えれば、結果が決まっておらず、「分からない」からこそ、人は頑張って励むものでもあります。

冒頭に引用した聖句、『フィリピの信徒への手紙』の続きにはこう書いてあります。「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

人がいくら、どう分析しても、未来は「未知」です。私たちは「未知」を「祈り」に変えていきましょう。その「祈り」によって私たちは誰を愛しているか、だから何をすべきかを思い起こしましょう。それがこれから分からない世界の中で私たちが「しっかり立つ」ための支え、神様の導きによって平和につながる道だと信じます。

キリスト教関係報告

2023年度各学校の礼拝状況

- ルーテル学院幼稚園：毎朝、教職員で礼拝をもって一日を始め、毎週水曜日には合同礼拝または誕生会をもって皆で神様に礼拝をささげています。また各クラスでも祈りの時間をもっています。
- ルーテル学院中学・高校：毎朝8時30分から全校で朝の礼拝をもって一日を始めています。コロナウイルスの蔓延中には歌っていなかった讃美歌も、昨年度の後半から歌い始め、毎朝讃美歌を歌う声が復活しました。
- 九州ルーテル学院大学：毎朝10時17分からチャペルで礼拝が行われます。コロナウイルスの影響が残っていた昨年度までと比べて多くの学生・教職員がチャペルに来るようになりました。
- 黒髪乳児保育園：毎朝、先生たちが祈りの時間をもって一日を始め、月に2回子どもたちとの合同礼拝をもって神様の祝福と教を学んでいます。



「ルーテルかよう会」が再開

2022年11月1日（火）から学食の一角に地域交流スペースが開設され、コロナ禍で中断していた「ルーテルかよう会」が再開されました。「ルーテルかよう会」とは、毎週火曜日の10時から学院周囲の黒髪地区12町内、5町内の方々で行う介護予防のための活動です。500gから1kgのおもりを両手・両足につけて「いきいき100才体操（熊本



体操の様子



学生がリードして「愛の花(あいみよん)」を一緒に歌っている様子

バージョン)」をDVDの映像に合わせて行います。その後は早口言葉などの脳トレ、懐メロ歌謡の合唱、最後に「隣組」を肩たたきをしながら歌う流れです。

2023年度になり、空き時間の新入生も参加するようになりました。最近では、懐メロ歌謡だけでなく、学生がリードして最近の楽曲を一緒に歌うこともあり、世代間の交流の場にもなっています。

花の日礼拝

6月、大学まで歩いて行き、いつもお世話になっている方々へ感謝の気持ちとお花を届



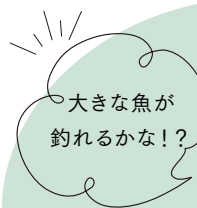
(園児からお花を貰う松本学長)

けました。また、初めて大学の美しいチャペルでお祈りの時間を守り、心が澄み、神様の優しさを感じていました。

七夕・夏祭り会

7月、4年ぶりに黒髪校区の老人会の方を招待し『七夕・夏祭り会』を開催。老人会の方にお店屋さん（輪投げや魚釣り、お面屋さんなど）になってもらい、お祭りを楽しみ

ました。今年もかき氷屋さんは人気でしたよ。地域のみなさまに愛され、守られながら、子ども達は大きくなっています。



子どもたちが元気で育ちますように！

「ルーテル区役所」の取り組みを紹介します!

ルーテル学院高校では、2020年度より、予測困難な社会の変化に対して、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断・行動をして、思い描く幸せを実現できる力をつけてもらうために、「地域課題解決プロジェクト」を立ち上げました。高校生の感覚を生かして地域の課題解決のプロセスに必要な知識を、実践を通して学んでいく取り組みをしてきました。

具体例としては、子飼商店街の活性化の一環として商店街の清掃活動とペットボトル風車の飾りつけを行い、美化や自転車マナーの向上につながりました。他にも、健軍商店街の活性化の一環として、名物であった「パンダ焼き」のリニューアルを企画し、販売を行いました。

2021年度には「個人」として「(自分は)社会に対してどう貢献できるか?」を考え、「個人から社会」へとアプローチをして、自分の専門性や居場所を発見することを目的としたプログラムである『起業家精神(アントレプレナーシップ)育成講座』にも取り組みました。

2022年度は、「課題解決プロジェクト」として、高校生と中学生が校内に「ルーテル学院バーチャル区役所」を設立し、参加生徒の興味・関心に合わせた課を設置して、実際にある課題を行政や企業の方々と一緒になって活動しました。

主な取り組みは、以下のとおりです。

- 黒髪12町内ぼうさい運動会(防災課)
- 高橋稻荷神社「狐の灯火祭り」(イベント課)
- 私学合同フェア(教育進路課)
- Kumamoto Education Weekへの参加
- 「防災の窓口」(防災課)
- マイプロジェクトアワード熊本 summit への出場

自分たちで考えたアイデアを、様々な分野の人たちと関わりを通して実現させていく過程で、主体性・協調性・責任感などを育み、成長を続けています。



中学体育大会

5月20日(土)、本校グラウンドで開催されました。前日までの雨がうそのように晴れ渡り、絶好の体育大会日和となりました。

生徒、教職員が一体となり、和気あいあいと、時には真剣勝負が繰り広げられました。

久しぶりに観覧した保護者のみなさまもダンスや綱引きで大盛り上がり。ルーテルらしさの詰まった楽しい一日でした。



高校体育大会

5月12日(金)、パークドーム熊本にて開催されました。久しぶりに保護者も観覧できる形での開催となりました。外は初夏の強い日差しが照りつけていましたが、ドーム内も生徒たちの熱気に満ちていました。

みんなハッスルして、笑顔の絶えないすがすがしい一日となりました。

Fight!



熊本県高校総体2023特集

【競技数27】

競技名	結 果		
弓 道	個人戦	第4位	山崎 花音
	女子団体	予選敗退	
	男子団体	予選敗退	
ハンドボール	女子	第3位	
バドミントン	女子 学校対抗戦	ベスト8	
	個人戦	ベスト16	矢野 仁菜
バスケットボール	女子	第3位	
	男子	1回戦敗退	
	男子団体	準優勝	
ソフトテニス	個人	第3位	上村 光希・野中 翔太
		第4位	和田 好人・坂本 旭
		第6位	岩田 壮央・葦田 陸人
	女子団体	1回戦敗退	
	陸上競技	女子5000m競歩	第2位
女子1500m		第6位	日置 滯
女子3000m		優勝	古木 愛莉
		第5位	吉田 あゆ
女子800m		第2位	松山 美結
バレーボール	女子	3回戦敗退	
	男子	3回戦敗退	
少林寺拳法	女子団体演武	優勝	
	男子団体演武	優勝	
	女子組演武	優勝	織田 夢、田口 喜来
	男子組演武	優勝	笹原 健聖、福永 雅斗
	女子単独演武	第3位	片岡 景
		第4位	佐藤 萌香
	男子単独演武	優勝	堀口 詠冬
		第3位	坂口 駆

競技名	結 果		
馬 術	二段階障害飛越競技	第3位	門岡 蘭
	スピード&ハンディネス競技	第3位	門岡 蘭
体 操	個人	第10位	東浦 龍
	男子	準優勝	
サッカー	女子	2回戦敗退	
	女子総合	第3位	
水 泳	男子総合	第3位	
	100m平泳ぎ 女子	1位(1'12"25)	堀田 紗弥
		3位(1'15"11)	江崎 夏萌
	100m平泳ぎ 男子	2位(1'05"55)	田尻 春樹
	400m自由形 女子	3位(4'33"17)	木下 七海
	400m自由形 男子	2位(4'06"49)	中村 満幸
		3位(4'09"86)	緒方 菜旭
	100m自由形 女子	2位(1'00"47)	堺 茜恋
	4×100mフリーリレー 女子	3位(4'10"53)	木下・堺・坂本・水嶋
	4×100mフリーリレー 男子	3位(3'42"06)	中村・緒方・田尻・江尻
	800m自由形	3位(9'37"00)	水嶋 優
	1500m自由形	2位(16'28"70)	中村 満幸
	4×100mメドレーリレー 女子	3位(4'32"28)	葦田・堀田・堺・木下
	4×100mメドレーリレー 男子	5位(4'03"99)	大澤・田尻・中村・緒方
	200m背泳ぎ 女子	3位(2'28"48)	葦田 佳奈
	200m自由形 女子	2位(2'11"29)	堺 茜恋
		3位(2'11"38)	木下 七海
200m平泳ぎ 女子	1位(2'38"62)	堀田 紗弥	
4×200mフリーリレー 女子	2位(8'55"41)	堺・堀田・木下・水嶋	
4×200mフリーリレー 男子	3位(8'05"53)	中村・緒方・岸田・江尻	
※他入賞多数			

2022年度 主な進学先一覧(大学編)

■私立大学

卒業生数	338
■ 国公立大学	
大学名	合格者数
熊本大学	1
福岡教育大学	1
鹿児島大学	2
鹿屋体育大学	1
熊本県立大学	3

大学名	合格者数
九州看護福祉大学	21
九州ルーテル学院大学	28
熊本学園大学	59
熊本保健科学大学	18
尚綱大学	6
尚綱大学短期大学部	3
崇城大学	13
東海大学(九州キャンパス)	3
九州産業大学	8

大学名	合格者数
西南学院大学	9
中村学園大学	1
福岡大学	6
福岡工業大学	1
福岡女学院大学	7
久留米大学	1
西九州大学	1
長崎国際大学	3
別府大学	1

大学名	合格者数
立命館アジア太平洋大学	1
九州保健福祉大学	2
青山学院大学	4
専修大学	1
東洋大学	1
日本大学	2
立命館大学	1

私たちが生きていく上で欠かせない、食べること。園ではこだわりの給食提供のほか、野菜作り等体験することを通して、食育活動を行っています。

～給食おいし～い!!～

園の給食は、良い食材と本物の食材を使って、旬と素材の味を大事に園で丁寧に作っています。園で園児が収穫したものが、メニューに並ぶこともありますよ。



/1歳児\

『おかわり
ください!!(^^)』

『お箸も上手に
持てるよ!!』



/2歳児\



/3歳児\

離乳食の「手づかみ食べ」

食べ物を目で見るとつかみとる⇒口に運ぶ⇒味わうといった一連の動きには意味があります。

- ・目で見ると…食べ物だと認識する
- ・つかみとる…食べ物の固さを実感する
- ・口に運ぶ…適量や運ぶ場所を知る

自分の口だとどれくらい入るのか、モノには柔らかい・固いなどがあり、それに対して柔らかく持つのか、しっかり持つのかの手加減などを学んでいきます。少しずつ自分で食べることが上手になり、スプーンやフォークを使って食べることが上手になっていきます。

～畑作り・野菜作り～

年長さんが野菜を育てています♪



野菜を育てるためには、まず土作りから…。園児が持ち寄った生ゴミとぼかしを混ぜて、栄養のある土を作りました。

栄養たっぷりの土で野菜も成長中。大きくな～れ♪



～うめジュース作り～



5月初旬、学院内の梅の木の梅を年長さんみんなで収穫しました!

こんなにたくさんとれました★



ヘタを取って、つまようじで穴を空けたら氷砂糖と酢と一緒に瓶の中へ…。1ヶ月ほどかけてジュースになります。



出来上がったうめジュースの試飲会。保育参観でお家の方と一緒に『いただきます!』



～味噌作り～



年長の子ども達は、給食室の先生方に指導してもらいながら、味噌作りも体験します。添加物は一切入っていない大豆、塩、麹だけのお味噌です。昨年度は、出来上がったお味噌は給食のお味噌汁にも使われ、幼稚園でおいしくいただきました(^^)



おいしくな～れ!



～びわが実りました～

園庭にあるびわが実り、バスのおじちゃんと一緒に収穫しました。



みてみて～
びわがたくさん!

いくつ収穫できたか、ホールで数えてみました。新聞紙1枚ごとに、10個のかたまりにして…なんと90個、収穫できました☆



インターナショナルスクール小学部を開校します

【インターナショナルスクール小学部(2024年4月開校予定)について】



九州ルーテル学院は 2026（令和8）年に創立 100 周年という大切な節目を迎えようとしています。創立から第二世紀を迎えるにあたり、これまでの伝統を継承しながら、時代の要請に応える新たなビジョンを形成することが、いま求められています。

これまでの人づくりの伝統を一層進展させるとともに、第二世紀に向かう教育の器を新たに設けて、グローバル社会に積極的に開かれていく意欲と才能の形成を目指します。特に今日、国際的な視野を獲得するための語学力と思考力を子どもの時代から追及します。

インターナショナルスクール小学部では、この教育のねらいを実現するため、日本人の児童と海外からの児童を受け入れて、少人数のクラスを編成し、本学院の伝統的な特徴である実践的な英語教育、異文化理解と、さらに国際社会で共通の教育評価基準として認知されている国際バカロレア（IB）の初等教育プログラム（PYP）のカリキュラムに基づく探究型の教育を展開します。

第一回説明会を開催

4月22日（土）には、『第一回説明会』を開催しました。県内外から約70名の参加があり、本小学部開校に対する高い関心がうかがえました。

説明会では、アオバジャパン・インターナショナルスクールのポール・フラダーレ校長と板倉平一取締役を中心に、インターナショナルスクールの教育システムを中心として、国際バカロレアの教育や UOI（Unit of Inquiry、探究の単位）などについて詳しくお話いただきました。続いて、プロジェクトチームリーダーを務める松本充右九州ルーテル学院大学長が、本小学部の概要や目指す国際教育について説明。参加者は真剣な表情で聞き入り、熱心にメモを取っていました。



サマースクールを開催中!

開校に向けたイベントとして、サマースクール（Session1：7月31日～8月4日、Session2：8月7日～8月11日）を開催中です。アオバジャパン・インターナショナルスクールから講師をお迎えして、4歳～11歳の児童約80名（延べ）が『Summer Inquiry（夏の探究）』をテーマに、さまざまなアクティビティを英語で体験しています。生きた英語に触れ、子どもの成長を促す貴重な体験教室です。



◆2022年度 決算報告◆

本法人の2022年度決算は、下表のようになりました。
より詳しい報告は、学院ホームページの「財務報告書（2022年度版）」をご覧ください。

【概要】

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。基本金組入前当年度収支差額は（当期利益に相当）98百万円となり前年度決算より約74百万円の増額となりました。

収入の基礎となる園児・生徒・学生の募集は順調です。また、大学ネットワーク（LAN）工事74百万円（50百万円借入）、中高教育（支援）システム改修5百万円、こども園空調機器の更新5百万円等、総額1億2,700万円の施設設備投資を実施しました。

このようにして、園児・生徒・学生の授業料は確実に教育の改善と財務体質の強化に活かされていることを、感謝してご報告します。

（事務局長・櫻井和夫）

貸借対照表

2023年3月31日現在（単位：千円）

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	4,927,994
有形固定資産	4,591,799
土地	1,494,760
建物	2,200,056
その他の有形固定資産	896,983
構築物	225,234
教育研究用機器備品	161,909
管理用機器備品	17,179
図書	490,604
車輛	2,057
特定資産	304,876
減価償却引当特定資産	180,000
退職給与引当特定資産	101,000
トイレ整備引当特定資産	1,200
バイオフィルガン維持管理引当特定資産	3,130
阿蘇山荘復興整備引当特定資産	546
教育環境整備引当特定資産	9,000
インター小教育環境整備引当特定資産	10,000
その他の固定資産	31,319
電話加入権	2,424
通行権	2,800
有価証券	4,550
その他の固定資産	21,545
出資金	1,014
敷金	233
ソフトウェア	19,379
長期前払金	920
流動資産	1,031,365
現金預金	880,434
その他の流動資産	150,931
未収入金	137,835
前払金	11,138
仮払金	1,958
資産の部合計	5,959,359
負債の部	
固定負債	877,130
長期借入金	596,796
その他の固定負債	280,334
退職給与引当金	271,044
長期未払金	9,289
流動負債	272,926
短期借入金	75,540
その他の流動負債	197,386
未払金	85,057
前受金	87,571
預り金	22,787
仮受金	1,972
負債の部合計	1,150,056
純資産の部	
基本金	7,171,842
第1号基本金	7,008,842
第4号基本金	163,000
繰越収支差額	▲2,362,539
翌年度繰越収支差額	▲2,362,539
純資産の部合計	4,809,303
負債及び純資産の部合計	5,959,359

※千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。

事業活動報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで（単位：千円）

科目	決算額
教育活動収支	
事業活動収入の部	1,378,561
学生生徒等納付金	1,378,561
手数料	23,241
寄付金	23,321
経常費等補助金	765,490
国庫補助金	149,462
地方公共団体補助金	616,029
付随事業収入	48,457
雑収入	77,131
教育活動収入計	2,316,201
事業活動支出の部	1,530,484
人件費	537,599
教育研究経費	164,802
管理経費	164,802
教育活動支出計	2,232,884
教育活動収支差額	83,317
教育活動外収支	
事業活動収入の部	31
受取利息・配当金	31
教育活動外収入計	31
事業活動支出の部	2,815
借入金等利息	2,815
教育活動外支出計	2,815
教育活動外収支差額	▲2,783
経常収支差額	80,533
特別収支	
事業活動収入の部	29,819
その他の特別収入	29,819
特別収入計	29,819
事業活動支出の部	12,414
資産処分差額	12,414
特別支出計	12,414
特別収支差額	17,405
【予備費】	
基本金組入前当年度収支差額	97,938
基本金組入額合計	▲112,444
当年度収支差額	▲14,506
前年度繰越収支差額	▲2,348,032
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	▲2,362,539
(参考)	
事業活動収入計	2,346,051
事業活動支出計	2,248,113

※千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。

Luther
九州ルーテル学院報
No.21・22合併号

発行 学校法人 九州ルーテル学院
発行日 2023年8月8日
編集 九州ルーテル学院広報委員会
印刷 株式会社 河田印刷

ご意見・ご感想は学院広報委員会まで
〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111
houjin@klc.ac.jp

感恩奉仕
~Gratitude and service~

昨年度2回目の発行と今年度1回目の発行をまとめたものとなっております